

【診療放射線技師】

◎主な配属先、業務内容

■出先機関

県立病院



- 一般撮影・CT・MRI・血管造影・消化管撮影・RI・放射線治療・陽子線治療・PET 検査
- 時間外も当番制で夜勤・日勤があり、救急撮影やポータブル撮影、CT、MRIなどに従事

健康福祉センター

- 医療機関の立入検査や感染症患者発生時の対応・支援・事務、衛生統計、健康危機管理等を実施

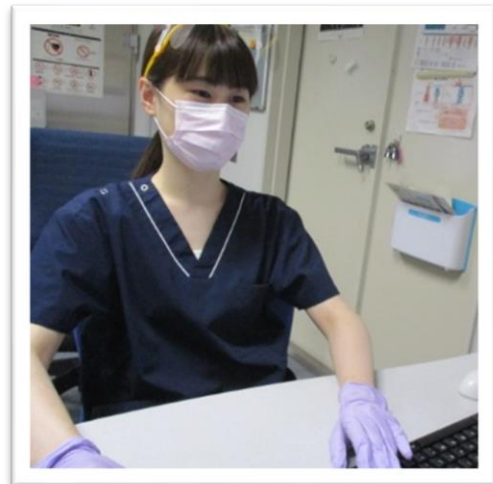


こども療育センター



- ささまざまな障がいを持つお子さんのX線撮影検査

【診療放射線技師】令和2年度採用



県立病院

玉木 紗登子

(金沢大学 医薬保健学域保健学類 卒業)



【主な担当業務】

- 一般撮影
- マンモグラフィ
- MRI

◎ある一日のスケジュール

8:30	9:00	10:30	12:00	13:00	17:00	17:15
業務開始、 装置の立ち上げ 始業点検	マンモグラフィ 業務	一般撮影業務	昼休み	MRI 業務	検査室の片づけ、 清掃、 終業点検	業務終了

◎福井県職員を志望した理由

診療放射線技師を志した時から、友人や家族など自分の大切な人が住んでいる福井の医療に貢献したいと考えていました。また大学4年間を県外で過ごし、帰省するたびに改めて福井の住み心地の良さを実感しており、より一層福井に戻りたいと思いました。

◎仕事をはじめて感じていること

私は現在一般撮影、マンモグラフィ、MRIに従事しています。一般撮影では骨折部を動かす、マンモグラフィでは乳房を圧迫するといったことによって検査に痛みが伴います。また、MRIでも閉所恐怖症の方や騒音、検査時間の長さで苦痛を感じる患者さんがいらっしゃいます。そういった患者さんになるべくリラックスしてもらいつつ理想の画像を撮るためには、**コミュニケーション能力が大変重要**だと感じています。**何を検査するのか、どういったことをするのかわかりやすく説明したり、患者さんが辛いと感じたことに共感や謝罪、検査に協力してもらったことへの感謝の意を伝えるなどの工夫**をしています。

◎魅力・やりがい

丁度コロナの感染拡大が始まった時期に就職し、慣れない仕事に加え常に感染予防に気を配り、また実際に防護服を着てコロナ陽性の患者さんを撮影することもありました。当時は不安や緊張で辛い時もありましたが、それと同時に**福井の医療を最前線で支えられている実感**もあり仕事へのモチベーションに繋がっています。

◎採用試験対策

一次試験では教養試験に力を入れて勉強しました。教養試験は様々な分野から出題されるため慣れない出題形式のものもあります。どんな問題が出てもしっかりと落ち着いて解けるよう、中級地方公務員試験問題集をひたすら通り解いて臨みました。専門試験は国家試験勉強をしていれば問題ないと思います。

面接試験は大学の面接練習会に可能な限り参加して臨みました。面接の雰囲気になれることや自分の履歴書の内容からどんな質問がされそうか把握すること、また**他の人の上手な面接を見て良い所を真似**するなど、実践でしか得られないことが多くありました。そのお陰で、本番は緊張しつつも自分の伝えたいことをしっかりと話すことができました。

◎後輩たちへ一言

大規模な病院なため様々な放射線機器が揃っており、また検査数や検査種が多いです。加えて**経験や知識の豊富な先輩ばかり**で、心強く感じるとともに身近に目標となる人が居てくださり、自分ももっと頑張ろうという気持ちになります。**技師としてのスキルアップを目指すとともに、福井の医療を支える一員になれる良い職場**だと思います。